

第4回「中海沿岸農地排水不良WG」について

- 1 開催日時 平成25年7月17日（水） 14:00～16:00
- 2 出席機関 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所
農林水産省中国四国農政局整備部
鳥取県農林水産部農地・水保全課、西部総合事務所地域振興局、西部総合事務所農林局
米子市企画部企画課、経済部農林課

3 報告事項

(1) 崎津モデルほ場への残土受け入れの経過

平成24年 9月 国土交通省出雲河川事務所から日野川河川事務所管内の工事による搬出土の利用について情報提供があった。

平成24年10月 現地にて、国土交通省日野川河川事務所、地元代表、米子市合同で、搬出予定土等について確認をし、地元受け入れ体制の調整を依頼する。

※ 受け入れについては、地元受け入れ希望農業者の個々の都合により、大量の土を受け入れできないこと及びほ場が点在していることなどの問題があったうえ、搬出土が粘土質で、ほ場に適さないとの判断をし、今回の工事分は、受け入れを断念した。

(2) 崎津モデルほ場の農振農用地区域への編入等の経過

平成24年 6月 崎津地区での地元関係者等と意見交換会及び意向調査

平成24年10月 モデルほ場地元代表者と意見交換を実施。

平成25年 1月 モデルほ場地元代表者と意見交換を実施

※ 耕作者(地権者)の間でも賛否両論で調整が難しい。

(3) 排水不良農地での耐湿性作物の試作の経過

彦名地区、崎津地区で、農業者等への事業説明、試作調整等をおこなったが、実施候補農業者の営農時期とほ場の確保等の調整ができなかった。

4 協議事項

(1) 設置要綱の改正について

ワーキンググループの構成員の部課名が機構見直し等により変更となったため設置要綱の一部改正をした。

(2) 排水不良農地（崎津モデルほ場）への残土受け入れについて協議・検討（参考資料）

- ①現状 モデルほ場 A = 3.3 ha
受け入れ量 約4,000 m³
受け入れ面積 約0.8 ha（50cm客土）
- ②今後 必要量 約12,500 m³
必要面積 約2.5 ha（約50cm客土で試算）

(3) 排水不良農地での耐湿性作物の試作について協議・検討

5 今後の予定

上記検討・協議結果を基に、

(1) 残土受け入れについて、引き続き、「鳥取県西部地区建設発生残土対策協議会」の工事残土情報等を基に、地元と協議・調整を図りながら、モデルほ場で活用できる残土の受け入れを進める。

(2) 新たに、彦名地区での排水不良対策への取り組みを地元と協議・検討を進める。

(3) 農振農用地区域への編入等について、引き続き、地元と協議を進める。

(4) 耐湿性作物の試作について、引き続き、地元農業者等と協議・検討を進め、「弓浜農業未来づくりプロジェクト事業」での試作実証に取り組む。

